

1
にほんご
これだけ!

隠れ文法の使い方

ver.1 (2010.5.21)

岩田一成・森篤嗣・庵功雄



日本人参加者のみなさまへ

『にほんごこれだけ!』はおしゃべりのためのテキストです。あくまでおしゃべりが盛り上がることを追及しております。ただし、各トピックには、そこで使ってほしい文法項目を練りこんであります。これが我々のいう‘トピックシラバス（隠れ文法付き）’です。この冊子では我々が各トピックにどんな文法項目を隠しているのか、つまり、文法の視点から見た『にほんごこれだけ!』の使い方だと考えてください。トピック1-17までの間に、同じ項目が繰り返し出てきます。それぞれの項目が最低3回は出てくるように組み込んであります。これをわれわれは‘文法スパイラル’と呼んでいます。繰り返し確認しますが、おしゃべりを盛り上げるのが最大目標ですので、ここに指摘している文法を教え込もうとはしないでください。また、**おしゃべりは出たところ勝負です。こちらの意図通りに文法項目が使えるわけがありません。**ここに書いてあることはあまり気にしすぎず、さりげなく使っておしゃべりを続けてもらえたらうれしいです。

もくじ

隠れている文法	4
トピック0	5
トピック1	6
トピック2	7
トピック3	8
トピック4	9
トピック5	12
トピック6	13
トピック7	15
トピック8	17
トピック9	19
トピック10	20
トピック11	21
トピック12	23
トピック13	25
トピック14	27
トピック15	28
トピック16	31
トピック17	33

文法コラム

コラム① 「は」と「が」 (庵 功雄)	10
コラム② 「はーが」文 (庵 功雄)	14
コラム③ 形容詞の目的語 (岩田一成)	18
コラム④ 「非過去」ってなんだ!? (岩田一成)	24
コラム⑤ イ形容詞とナ形容詞という名称 (森 篤嗣)	29
コラム⑥ イ形容詞とナ形容詞の違い (森 篤嗣)	34

付録：分かち書きルール	36
-------------------	----

隠れている文法

*『にほんごこれだけ！1』（以後『これだけ1』）では全体として、以下の文法項目が隠れています。この文法項目をSTEP1と呼びます。

STEP 1 文法項目

動詞文	…ます／ません	…ました／ませんでした
名詞文	…です／じゃないです	…でした／じゃなかったです
形容詞文	…です／くないです	…かったです／くなかったです
<応答>	王さんは主婦ですか？ はい、そうです。 いいえ、違います。 昨日、会社に行きましたか？ はい（行きました）。いいえ（行きませんでした）	
助詞	～を ～の（所有格） ～の（昨日の洗濯をしました） ～に（時間、場所、行き先） [[「住んでいます」はかたまりとして導入] ～で（場所、手段、範囲） [[「歩いて」はかたまりとして導入] ～から～まで（場所・時間） ～が（目的語の「が」） ～と（協同行為者、並列助詞）～も ～は ～より ～のほうが ～か（疑問） ～ね（確認）	
疑問詞	だれ、何、何〇（何時、何年、何歳、何個、何人、何杯）、どこ、いつ、どれ・どっち、どの、どう、どうやって、どうしてですか？ [かたまりとして導入]	
指示詞	（絵や写真を指さしながら）これは何ですか？ これ・それ・あれ／こっち・そっち・あっち／ここ・そこ・あそこ	
その他	バナナを食べたいです（願望）、たぶん～です／～ます（推量）、いちばん ～のとき、～ですから（理由）	
語彙的な項目	数字、助数詞（個、人、杯）、曜日、頻度副詞（いつも、ときどきなど）	

*庵（2009）¹で「1機能1形式」の原則による初級の圧縮が試みられており、STEP1文法項目が提示されています。そこに、現場での試用を基に項目を追加してできたものがこの一覧です。

1 庵 功雄（2009）「地域日本語教育と日本語教育文法—「やさしい日本語」という観点から—」『人文・自然』3、一橋大学 http://Cse.hit-u.ac.jp/staff/iori/ronbun_iori/ronbun_iori_mokuzi.html

トピック0 はじめに

このトピックは他と異なり、特定のトピックも隠れ文法もありません。いっしょに基本的なあいさつを使ってみたり、教室でよく使う言葉を覚えてもらったり、いわばおしゃべりを始める前の準備運動だと考えてください。少しでも入っていますが、ひらがなを書いてみたり、身の回りの数字を読んだりする活動も入っています。

地域日本語教室に来る外国人参加者はいろいろな方がおられますので、相手のレベル・ニーズに合わせて使ってください。すべて知っているという場合は、飛ばしてしまってもかまいません。

トピック1以降は、それぞれのトピックでこちらが意図している文法項目を挙げていきます。ただし、「は（「は①」）、も、か（疑問）、を」に関しては、毎回のよう頻出する助詞ですので特に取り上げて説明したりはしません。

以降の説明に出てくるトップページというのは、基本的に1ページ目と2ページ目を指しますが、トピックによってはトップページが4ページあることもあり、そういう場合にはトップページ①（1、2ページ目）、トップページ②（3、4ページ目）と分けて表します。

トピック1 おなかがすきました

述部

メイン 動詞の過去形

「たべました、のみました」という動詞が中心になりますが、動詞の過去の形を使って食べたもの、飲んだものについて話しましょう。現時点からみて過去の話ができるように、「あさ」「ひる」「きのうのよる」などをいろいろ使いながら話を広げましょう。もちろんこれからたべるごはんの話に広がってもいいですね。

サブ ナ形容詞／イ形容詞の非過去形²

「すきです、きらいです、あまいです、からいです」など、食べ物の話を広げるときに、さまざまな形容詞を使ってください。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

<p><u>トップページ</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ なにも～ないです <p>『これだけ1』では、この形でかたまりとして示します。あさごはんやひるごはんの話で話していると、「何も食べませんでした、飲みませんでした」という該当する答えがない状況があります。そういうときに、この文法項目で話しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ で (『したじき』での表記「で③」) <p>本トピックに出てくるのは、範囲を表す「で」の用法です。「くだものでバナナが好きです」という例では、「くだもの」というカテゴリーの範囲の中で何が好きかという話をしていきます。テキストには「やさい」「にく」「さかな」という他のカテゴリーも例示してあります。</p> <ul style="list-style-type: none">・ が (『したじき』での表記「が②」) <p>「バナナが好きです」「パソコンがほしいです」のような例において、「バナナ」「パソコン」は英語などでは他動詞の目的語となります。ところが、日本語では「を」ではなく「が」で表します。</p>
<p><u>やってみましょう！</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 特になし
<p><u>おしゃべりしましょう！</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 特になし

² 本冊では「です・ます」の形を非過去形と呼びます。

トピック2 わたしのプロフィール

述部

メイン 名詞の「+です」の形

「サラリーマンです」「インドです」という「名詞+です」の形を使っておしゃべりしましょう。トップページにたくさん職業名、国名が挙げられています。ここにはないものは追加したりしてお互いについて話しましょう。

サブ 動詞の非過去形 (います／あります)

「あります」「います」という存在動詞がでできます。仕事の有無を言うときには、「あります」、うちや国にいる家族の話をするときは「います」を使いましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

<p><u>トップページ</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 特になし
<p><u>やってみましょう！</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 特になし
<p><u>おしゃべりしましょう！</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ に (『したじき』での表記「に②」) <p>『これだけ1』では「に」の用法が三つ出てきます。「に②」というのは、存在場所を表す「に」のことです。「うちにおとうさんがいます」のように、誰かが存在する場所を表します。家族の話題について話し合しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・ と (『したじき』での表記「と②」) <p>『これだけ1』では「と」の用法が二つ出てきます。「と②」は複数の名詞を併記するときの用法です。「おとうさんとおかあさん」のように、いろいろなものを並べて話しましょう。</p>

トピック3 わたしのいちにち

述部

メイン 動詞の非過去形

「べんきょうをします、たべます」という動作を表す動詞をつかって、一日の生活を話し合いましょう。「まいにち、まいばん、ときどき」や「3じ、8じ」などをいっしょに使いながら、生活を紹介しあいましょう。

サブ ナ形容詞・イ形容詞の非過去形

「おもしろいです、たいへんです」という形容詞を使いながら、毎日の生活のいろいろな場面に関してコメントをしあいましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・に (『したじき』での表記「に③(へ)」)

「に③(へ)」は行き先を表す用法です。「へ」と同じ意味なので括弧の中に入れてあります。「がっこうに(へ)いきます」のように移動する行き先を表します。「スーパー」「ようちえん」などの絵も使いながら、毎日行く場所を話しましょう。

・に (『したじき』での表記「に①」)

「に①」は、時間を表す用法です。「8じにごはんをたべます」のように、時間につけます。「にちようび、げつようび」などにはつけてもいいですが、「きょう、あした、まいあさ」などにはつけられません。話すときに注意してください。

やってみましょう！

・から/まで

時間・空間に関して、はじまりとおわりを設定する文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありませんが、本トピックの会話では「1じから3じまで」のようにセットで出てきます。状況に応じて、バラして使ってください。

おしゃべりしましょう！

・特になし

トピック4 まちのじょうほういろいろ

述部

メイン 動詞の非過去形

「あります」という存在動詞をつかって、町にある場所をいろいろ紹介しながら、「かいます、いきます、おきます」のような動詞を使って、その場所に関わるおしゃべりをしましょう。

会話

A:ここにスーパーがあります。

B:なにをかいますか？

A:たべもの(など)をかいます。

A:ここにゆうびんきょくがあります。

B:なにをしますか？

A:にもつをおきます。

サブ 名詞の「+です」の形

「あるいて10ぷんです、なまえは〇〇です」などを使い、町にある場所について、そこまでの所要時間や場所の名前などを話しましょう。

サブ イ形容詞の非過去形

「おしゃべりしましょう！」に一度だけ「やすいです」というイ形容詞が出てきます。スーパーやドラッグストアなど、よく行く店について価格情報を交換しましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・に (『したじき』での表記「に②」)

「に②」は場所を表す用法です。「えきのちかくにあります、ここにあります」のように町に存在する場所について話す際に使いましょう。

・で (『したじき』での表記「で②」)

「で②」は手段・媒介を表す用法です。本トピックでは、移動手段を表すときに使います。 「じてんしゃ」「でんしゃ」「くるま」などの移動手段があげられています。歩くときは「あるいて」を使うので、「で」は不要になることを確認しましょう。

・で (『したじき』での表記「で①」)

「で①」は動作の場所を表す用法です。「スーパーでやさいをかいます」のように、話題となっている場所において何をするかを話すときに使います。

やってみましょう！

・特になし

おしゃべりしましょう！

・より／のほうが

比較するときの文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありませんが、本トピックの会話では「こっちのみせよりあっちのみせのほうが」のようにセットで出てきます。必要に応じてバラバラで使ってみましょう。

コラム① 「は」と「が」



「は」と「が」という助詞は外国人にとって使い分けが難しいものです。

「は」は「主題」を表す助詞です。主題というのは「その文で何について述べたいか」の「何」にあたるものです。例えば、「田中さんは学生です。」という文の「田中さん」が主題で、この文は「田中さん」について述べています。

一方、「が」は基本的に「主語」を表します。「主語」というのは、動作をする人（自動詞、他動詞）、出来事の主体（自動詞）、属性の主体（形容詞および、名詞+です）のことです。それぞれの例は次の通りです（このうち、属性の主体の場合は、主語は「は」で表されるのが普通です。なお、述語が動詞でも否定文の場合は普通「は」が使われます）。

- ・田中さんが来ました。（動作をする人・自動詞）
- ・吉田さんがケーキを作りました。（動作をする人・他動詞）
- ・昨日、雨が降りました。（出来事の主体・自動詞）
- ・洋子さんは美しいです。（属性の主体・形容詞）
- ・太郎さんは大学生です。（属性の主体・名詞+です）
- ・佐藤さんは病院に行きませんでした。（否定文・動詞）

主題と主語は別の概念ですが、両者が一致することも多いです。例えば、「田

中さんは学生です。」「ジョンさんは昨日駅前の本屋で本を買いました。」という文の「田中さん」「ジョンさん」は主題であると同時に主語でもあります。

しかし、主題と文の主語が一致しないこともあります。例えば、「この本は佐藤さんが書きました。」「この部屋にはテレビがあります。」の「この本」「この部屋」は主題ですが、主語ではありません（主語はそれぞれ「佐藤さん」「テレビ」です）。

「この本は佐藤さんが書きました。」という文の「書きます」という動詞には（意味的に考えて）主語（～が）と目的語（～を）が必要ですが、この文には「～を」がありません。その代わりに「この本は」があります。つまり、この文では、主題である「この本」が主語ではなく、目的語なのです。

同様に考えると、「田中さんは5年前に東京に来ました。」という文の「田中さんは」は主語（「田中さんが」）であることがわかります。

このように、「は」は主題であると同時に、「が」「を」の代わりにもなります（三上章という研究者はこのことを「ハの兼務」と呼んでいます。〈三上章(1960)『象は鼻が長い』くろしお出版〉）。

一方、「が」「を」以外の助詞のときはもとの助詞が残ります。

- ・吉田さんには私が返事を書きました。
- ・北海道からは代表が3人来ました。

最後に、主語を表す場合以外の「が」について述べます。

「好きです／きれいです」「ほしいです」など一部の形容詞が述語の場合、「が」は目的語を表します。

- ・マリアさんはコーヒーが好きです。
- ・私はパソコンがほしいです。

動詞（他動詞）の目的語は「を」、形容詞の目的語は「が」で表されると考えてください。形容詞の目的語についてはコラム③でまた紹介します。

なお、動詞の目的語を表すのに「を」以外の助詞が使われることがあるように、形容詞の場合も「が」以外が使われることがあります。例えば、次のようなものです。

- ・田中さんは数学に詳しいです。
- ・この問題は去年の問題と同じです。

トピック5 りょこうをしました

述部

メイン 動詞の過去形／～たいです

「いきました」「たべました」「あそびました」など動詞を中心に、過去の旅行に関する話をしましょう。また「～たいです」という願望を伝える表現で、将来の旅行計画などを話し合ひましょう。動詞は「いきます」という形から、「ます」を取った形（「いき」）に接続します。

サブ ナ形容詞・イ形容詞の過去形

旅行の感想を「きれいでした、たのしかったです」などと話しましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・に（『したじき』での表記「に③（へ）」）

「に③（へ）」は行き先を表す用法です。「へ」と同じ意味なので括弧の中に入れてあります。「ほっかいどうに（へ）いきました」のように移動した行き先を表します。「うみ」「やま」「とうきょう」などのイラストも使いながら、以前行ったことがある旅行について話し合ひましょう。

・と（『したじき』での表記「と①」）

「と①」は、動作に同伴する人を表す用法です。「かのじょといきました」のように、旅行に同伴した人について話をしましょう。

やってみましょう！

・特になし

おしゃべりしましょう！

・に（『したじき』での表記「に①」）

「に①」は、時間を表す用法です。「12がつにいきます」のように、いつか行きたい場所について話す際の時期を伝えましょう。「にちようび、げつようび」などにはつけてもいいですが、「きょう、あした、まいあさ」などにはつけられません。話すときに注意してください。

・で（『したじき』での表記「で②」）

「で②」は手段・媒介を表す用法です。本トピックでは、旅行の移動手段を表すときに使ひましょう。「しんかんせん」「ひこうき」「ふね」などの移動手段があげられています。

トピック6 わたしのいちねん／いっしょう

述部

メイン 名詞の「+です」の形

「35です、こどものひです、5がつ5かです」など、一年間の変化をテーマにおしゃべりしましょう。特に、月日の数字が何度も出てくるように組んであります。

サブ イ形容詞の非過去形

「あたたかいです、あついです、すずしいです、さむいです」などと季節に合わせて、形容詞を選択して話しましょう。

サブ 動詞／～たいです

「きました、います、～たいです」などを使って、これまでの経緯、これからの予定など、お互いの歴史や展望について話し合ひましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・ね

「あついですね」のように、お互いが共感できることに使ってください。「こどものひですね」のように祝日の名前を確認するようなニュアンスでも使えます。

・から／まで

時間・空間に関して、はじまりとおわりを設定する文法項目です。本トピックの会話では「7がつから9がつまで」のようにセットで出てきます。春夏秋冬について、その長さを説明しあひましょう。国によって季節の長さは様々ですし、国内でも地方によって違はずです。

・いちばん

「いちばんあついです」のように、一年の中で最も暑い月（寒い月）についてお互いの国のことを紹介しましょう。

・に（『したじき』での表記「に②」）

存在場所を表す用法です。「くににあります」のような祝日を比べる場面で使ひましょう。

やってみましょう！

・に（『したじき』での表記「に③（へ）」）

「に③（へ）」は行き先を表す用法です。「へ」と同じ意味なので括弧の中に入れてあります。「いつにほんに（へ）きましたか」のように使ひます。

おしゃべりしましょう！

・に (『したじき』での表記「に②」)

存在場所を表す用法です。「にほんにいます」のように未来の予定を話す場面で使しましょう。

・たぶん

「たぶん、にほんにいます」のように、将来の不確定な内容話すときに「たぶん」を使って話しましょう。『これだけ1』では「らしい」「ようだ」などの推量を表す文末形式がありません。ですから「たぶん」をつけることで推量であることを伝えます。

コラム② 「はーが」文



ちょっと一息

1つの文の中で、「は」と「が」が同時に使われることがあります。こうした文を「はーが」文と言います。次のようなものがその例です。

- ・山田さんは背が高いです。
- ・象は鼻が長いです。
- ・日本語は漢字が難しいです。

こうした文を「AはBがCです」と表すと、こうした文では、「BがCです」の部分がAの属性を表しています。例えば、「山田さんは背が高いです。」という文では「背が高いです」の部分が「山田さん」の属性を表しています。この場合、BはCという述語を詳しくしています。例えば、「日本語は漢字が難しいです。」という文は「日本語は難しいです。」という文を「漢字が」という部分でより詳しく述べています。

なお、「好きです/きらいです」「ほしい」などが述語の場合も「はーが」文ができます（「田中さんはお酒が好きです」「私はあの本が欲しいです」）が、この場合の「～が」は形容詞の目的語を表します。ここで紹介した「はーが」文は、『これだけ1』の「したじき」で「は②」としています。

トピック7 おかねがあったら³

述部

メイン ほしい／～たいです 非過去形

欲しいものや願望の表現を使いながら、「お金があったら」どうしたいか話し合しましょう。

サブ 名詞／イ形容詞の非過去形

「りんごは15こです」のように同じ金額でモノがいくつ買えるか話したり、「高いです、やすいです」のように、物価を比較したり、価格に関するトピックでおしゃべりしましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・が (『したじき』での表記「が②」)

「バナナが好きです」「パソコンがほしいです」のような例において、「バナナ」「パソコン」は英語などでは他動詞の目的語となります。ところが、日本語では「を」ではなく「が」で表します。

・に (『したじき』での表記「に③ (へ)」)

「に③ (へ)」は行き先を表す用法です。「へ」と同じ意味なので括弧の中に入れてあります。「おんせんに (へ) いきたいです」のように行きたい場所を話しましょう。

・なにも～ないです

『これだけ1』では、この形でかたまりとして示します。欲しいものや願望がない場合は、「なにもかいたくないです」のように話しましょう。

やってみましょう！

・で (『したじき』での表記「で①」)

「で①」は動作の場所を表す用法です。本来は「ちゅうごくでりんごは15こかうことができます」と言うべきところですが、『これだけ1』では「～ことができます」という文法項目を扱わないので、ちょっと苦しいですが「15こです」のような言い方で対応します。

3 「あったら」の「たら」(条件・仮定)という文法は、『これだけ2』で改めて扱います。現段階では「あったら」はタイトルの一部でありかつ翻訳つきですので、例外的に使っています。

・助数詞：こ

「りんご」「パン」「たまご」などを数えるときに、「こ」という助数詞で数えましょう。本トピックでは「ひとつ、ふたつ」のような「つ」ではなく「いっこ、にこ」のような「こ」だけを採用しています。これは規則が単純であるというだけの理由です。実際には「つ」のほうが使用範囲が広いので、おしゃべりの展開で「つ」が出てきてもかまいません。

おしゃべりしましょう！

・より／のほうが

比較するときの文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありません。本トピックの例では「にほんのほうがたかいです」「にほんよりやすいです」のように、バラバラで出てきます。



トピック 8 すきがいっぱい

述部

メイン ナ形容詞／イ形容詞の非過去形

「すきです」「きらいです」「たのしいです」「じょうずです」などを使ってすきなものについて話し合しましょう。

サブ たべました／～たいです

いろいろな食べ物について、「たべました」とか「たべたいです」のように話しましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ①

・で (『したじき』での表記「で③」)

「で③」は範囲を表す「で」の用法です。「あまいものでなにがすきですか？」という例では、「あまいもの」というカテゴリーの範囲の中で何が好きかという話をしています。テキストには「スポーツ」「にほんりょうり」という他のカテゴリーも例示してあります。

・が (『したじき』での表記「が②」)

「チョコレートが好きです」の例において、「チョコレート」は英語などでは他動詞の目的語となります。ところが、日本語では「を」ではなく「が」で表します。

・いちばん

「いちばんすきです」のように、お互いの好みについて話しましょう。

トップページ②

・どうしてですか？～ですから

『これだけ1』では「どうしてですか？」をかたまりの文法項目として示します。好きなものの理由をお互いに聞いてみましょう。

・ね

「たのしいですね」は、お互いが共感できるであろうという予測があるときに使ってください。相手がサッカーを嫌いだったとしたら、「たのしいですね」という言い方はしにくいですね。

やってみましょう！

・より／のほうが

比較するときの文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありませんが、本テキストの会話では「ロックよりクラシックのほうが」のように基本的にセットで出てきます。必要に応じてバラして使ってみましょう。

おしゃべりしましょう！

・たぶん

「たぶん、さるです」のように、不確定な内容を話すときに「たぶん」を使って話しましょう。『これだけ1』では「らしい、ようだ」のような推量を表す文末形式がありません。ですから「たぶん」をつけることで推量であることを伝えます。

コラム③ 形容詞の目的語



ちょっと一息

コラム①で「好きです／きれいです」「ほしいです」など一部の形容詞は「が」という目的語を取ると紹介しました。

- ・マリアさんはコーヒーが好きです。
- ・私はパソコンがほしいです。

ここでまず考えたいのは、なぜ形容詞が目的語を取るのかということです。形容詞・動詞といった品詞は形によって決まります。「好きです」は「きれいです、しずかです」と同じように活用するのでナ形容詞、「ほしいです」は「かわいいです、おおきいです」と同じように活用するのでイ形容詞となります(表参照)。

	ーです	否定	連体修飾
ナ形容詞	好き、きれい、しずか	すきじゃない、きれいじゃない、しずかじゃない	すきな、きれいな、しずかな
イ形容詞	ほしい、かわいい、おおきい	ほしくない、かわいくない、おおきくない	ほしい、かわいい、おおきい

この品詞というものは日本語における決まりごとであり、他の言語でも同じになるとは限りません。「すきです」「ほしいです」は「like」「want」のように英語では動詞になります。つまり、「すきです」「ほしいです」は、形容詞の中でも動詞に近い、目的語が取れるということになります。

次に考えたいのは、目的語についてです。「太郎が次郎を殴った」という場合、目的語である次郎は‘を’という助詞をとります。基本的に動詞の場合、主語は‘が’、目的語は‘を’で表します。ところが形容詞の場合、他で主語だった‘が’は目的語になってしまうわけです。文法を規則立てて考えたいと思う外国人参加者にはこれを不思議に思う人がいるようです。

トピック9 げんきですか？

述部

メイン ナ形容詞／イ形容詞の非過去形

「げんきです」「たいへんです」「いそがしいです」「わるいです」などを使って、体調などを話し合しましょう⁴。

サブ 動詞の非過去形

「くすりをのみます」「ふるにはいります」のように風邪を引いたときの対応方法を話しましょう。

動詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・は(『したじき』での表記「は②」)

「わたしはめがわるいです」「わたしはせなかがいたいです」のように、「は」と「が」が同じ文の中で使われることがあります。「人は+体の部位が」という構造で、体調について話し合ってください。

やってみましょう！

・いちばん

「いちばんいたいです」のように、ツボのなかで最も痛い場所を伝えましょう。

・指示詞：ここ／そこ

いっしょにツボを押し合いする中で、自分と相手の位置関係によって「ここがいたいです」「そこがいたいです」を使い分けましょう。自分で自分の掌を指すときは「ここ」、相手が自分のツボを押している状態では「そこ」となります。

おしゃべりしましょう！

・～のとき

時間を表す文法項目です。『これだけ1』では動詞や形容詞が名詞を修飾するときの形を扱いません。ですから、この文法項目は基本的に「名詞+のとき」という形だけで使ってください。日常でよく聞く文法なので、「名詞+のとき」以外も理解できる人はたくさんいます。相手のレベルに合わせて「つかれたとき」「ねむいとき」のように状況を設定するとおしゃべりは広がります。

4 体調を表す言葉はすべて形容詞であるとは限りません。「つかれています」は動詞です。しかも、この「ています」という文法は『これだけ2』で改めて出てきます。ここでは「つかれています」をかたまりの一つの語彙として扱います。

トピック 10 わたしのうち

述部

メイン イ形容詞／ナ形容詞／～たいです 非過去形

「ひろいです」「とおいです」「あかるいです」「べんりです」のように、自分のうちについて紹介しあいましょう。また、「すみたいです」「ほしいです」を使って、理想のうちやちかくにほしいものなども話し合ひましょう。

サブ 名詞／動詞の非過去形

「えきまで10ぶんです」「スーパーがあります」のように、うちの近くにある場所を紹介したり、そこまでの所要時間を説明したりしましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・から・まで

時間・空間に関して、はじまりとおわりを設定する文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありません。本トピックはバラバラでも出てきます。「えきからとおいです」「うちからえきまで」のように、うちや周りがある場所について話し合ひましょう。

・に（『したじき』での表記「に②」）

「に②」は存在場所を表す用法です。「ちかくにスーパーがあります」のように、うちの近所にあるものを話し合ひましょう。

やってみましょう！

・より・のほうが

比較するときの文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありません。本トピックでは「こっちのほうがいいです」のように単独で出てきます。

・指示詞：こっち／そっち

二つのアパートを比較しながら、「こっちがいい」「そっちがいい」などと話し合ひましょう。

・どうしてですか？ ～ですから

『これだけ1』では「どうしてですか？」をかたまりの文法項目として出します。選んだアパートの理由をお互いに聞いてみましょう。

おしゃべりしましょう！

・特になし

トピック 11 なんばいのむことができますか？

述部

メイン 動詞の非過去形／のむことができます⁵

「のみます」「たべます」を使って、お酒やおつまみについて紹介しましょう（お酒が飲めない場合はソフトドリンク）。また、「のむことができます」を使って、酒量について話し合ひましょう。「のむことができます」の「ことができます」は『これだけ1』の対象外なので、文法項目としては扱わず、かたまりの語彙として扱います。

サブ ナ形容詞の非過去形

「すきです」「きらいです」を使って、飲み物の好み、おつまみの好み、について話し合ひましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・が（『したじき』での表記「が②」）

「これが好きです」の例において、「これ」は英語などでは他動詞の目的語となります。ところが、日本語では「を」ではなく「が」で表します。

・で（『したじき』での表記「で①」）

「で①」は動作の場所を表す用法です。「うちでのみます」のようにお酒をよく飲む場所について話し合ひましょう。

・と（『したじき』での表記「と①」）

「と①」は、動作に伴う人を表す用法です。「かぞくとのみます」のようにお酒や飲み物を飲むときの同伴者を話し合ひましょう。

やってみましょう！

・で（『したじき』での表記「で③」）

「で③」は、範囲を表す「で」の用法です。「おさけでながすきですか？」のように、「おさけ」というカテゴリーの範囲の中で何が好きかという話をしましょう。

・いちばん

「いちばんすきです」のように、好みの飲み物を話し合ひましょう。

⁵ 「のむことができます」という可能を表す文法は『これだけ2』の文法項目なので、のちほど改めて扱います。本トピックではタイトルワードとして翻訳がついていますので、例外的に使っています。

・助数詞：はい

コップやジョッキ、グラスに入った飲み物を数えるときに「はい」を使います。この助数詞は、前に来る数字によって発音が「ばい」「はい」「ばい」と変化するので習得は大変です。一覧表を指差しながら、発音できないときは無理に言わせなくてもいいです。

おしゃべりしましょう！

・特になし



トピック 12 わたしのたいせつなひと⁶

述部

メイン① 名詞の「+です」の形

「4にんです」「つまとむすこです」「5さいです」のように家族構成や年齢について話しましょう。

メイン② イ形容詞／ナ形容詞の非過去形

「かっこいいです」「かわいいです」「めがおおきいです」「じょうずです」のように家族の紹介をしましょう。「ふとっています、やせています」の文法項目「ています」は『これだけ1』では対象外ですが、かたまりの一語としてここでは使いましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ①

・と（『したじき』での表記「と②」）

「と②」は複数の名詞を併記するときの用法です。「つまとむすことむすめ」のように、いろいろなものを並べて家族構成について話しましょう。

・助数詞：にん

人を数えるときに使います。「ひとり、ふたり」のように「1、2」のときだけ読み方が変わります。

トップページ②

・は（『したじき』での表記「は②」）

「むすこはサッカーがじょうずです」「いもうとはめがおおきいです」のように、「は」と「が」が同じ文の中で使われることがあります。「人は+種目〔カラオケ、サッカー、運転、料理、〕が+じょうずです」や「人は+体の部位が」という構造で、家族について紹介し合ってください。

やってみましょう！

・は（『したじき』での表記「は②」）

上と同じです。

6 「たいせつなひと」というナ形容詞が名詞を修飾する形は、『これだけ2』の文法項目なので、のちほど改めて扱います。本トピックではタイトルワードとして翻訳がついていますので、例外的に使っています。

おしゃべりしましょう！

・に (『したじき』での表記「に②」)

「に②」というのは、存在場所を表す「に」のことです。家族がどこにいるのか話し合います。「～にすんでいます」の「ています」という文法項目は『これだけ1』の対象外です。「すんでいます」というかたまりで一語として扱います。

コラム④ 「非過去」ってなんだ！？



この『隠れ文法の使い方』で、非過去という言い方を使っていますが、それが気になった人がいるかもしれません。なぜこういう言い方をするのでしょうか？ちょっと下の例文を見てください。

- ・ごはんを食べます。
 - ・机の上に本があります。
- どちらも動詞は「ます」の形ですが、果たして同じ時制を表していると言えるでしょうか？副詞をつけてみるとわかります。
- ・(??今/あした) ごはんを食べます。
 - ・(今/?あした) 机の上に本があります。

つまり、「ごはんを食べる」という動作は、現在のことではなく、未来のことを表しており、「本がある」という状態は現在のことを表していることとなります。「食べる」のような動詞は動作動詞、「ある」は状態動詞と呼んだりしますが、同じ動詞でも表す時間が違うということです。よって過去じゃない時制を現すときは、現在と未来の両方を含むため、非過去と呼ぶわけです。次の例はどうでしょう。

- ・あの子はかわいいですね。(イ形容詞)
- ・息子はげんきです。(ナ形容詞)

形容詞の場合はどちらも現在を表すので、状態動詞と同じパターンです。このように日本語では、述語のパターンによって非過去の形は現在を表したり未来を表したりするわけですが、私たちはそれらを上手に使い分けてコミュニケーションしていることとなります。英語のように未来を表す形式が日本語にはありません。そこから、非過去という呼び方が妥当であることがわかります。

トピック 13 テレビばんぐみ

述部

メイン 動詞 (みます／みました／にんきがあります)

「みます」「みました」を使って、よく見るテレビ、かつてよくみたテレビなどを話し合しましょう。「まいにち」「いつも」などの頻度副詞もいっしょに使いましょう。また、「にんきがあります」を使って、日本や相手の国で人気があるスポーツ番組についても話し合しましょう。

サブ ナ形容詞の非過去形

「すきです」「きらいです」を使って、テレビ番組の好みを話しましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・から・まで

時間・空間に関して、はじまりとおわりを設定する文法項目です。本トピックでは「7じから9じまで」のようにセットで出てきます。テレビを見る時間帯についておしゃべりしましょう。

・で (『したじき』での表記「で③」)

範囲を表す「で③」は、「にほんのテレビでなにがすきですか？」のように「にほんのテレビ」というカテゴリーの範囲の中で何が好きかという質問をしています。

・が (『したじき』での表記「が②」)

「うたばんぐみがすきです」の例において、「うたばんぐみ」は英語などでは他動詞の目的語となります。ところが、日本語では「を」ではなく「が」で表します。

・に (『したじき』での表記「に①」)

「に①」は、時間を表す用法です。「8じにみます」のように、時間を表す文法項目につけます。「にちようび、げつようび」などにはつけてもいいですが、「きょう、あした、まいあさ」などにはつけられません。話すときに注意してください。

・と (『したじき』での表記「と①」)

「と①」は、動作に同伴する人を表す用法です。「かぞくとみます」のように、テレビをいっしょに見る相手を紹介しましょう。一人で見るときは、「ひとりで」と「で」がつくことに注意してください。

やってみましょう！

・いちばん

「いちばんにんきがあります」のように、最も人気があるスポーツ番組について話し合しましょう。

・より／のほうが

比較するときの文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありません。本トピックの例では「やきゅうよりサッカーのほうが」のように、比較して自分の国のことを紹介しましょう。

おしゃべりしましょう！

・～のとき

時間を表す文法項目です。『これだけ1』では動詞や形容詞が名詞を修飾する形を扱いません。ですから、この文法項目は基本的に「名詞（こども）＋のとき」という形だけで使ってください。小さいときによくみたアニメの話でうまく盛り上げてください。



トピック 14 それ、いいですね！

述部

メイン イ形容詞／ナ形容詞の非過去形

「いいです」「かわいいです」「おおきいです」「きれいです」などを使いながら、相手の持ち物を褒めましょう。また、日本の食べ物などについて、いい点とよくない点をあげる活動にも使いましょう。

サブ 名詞の「+です」の形

「くるまですね」「バッグですね」のように名詞を使って、相手のものやカタログ、雑誌にあるものを説明しましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・指示詞：これ／それ

相手の持ち物をほめる際には「それ」、自分の持ち物を説明する際には「これ」と、使い分けを示しながら、お互いの持ち物について話しましょう。

・ね

「いいですね」のように、お互いが共感できるであろうという予測があるときに使ってください。「ふくですね」「バッグですね」のように、もの名前を一度確認したいときにも使えます。

・で（『したじき』での表記「で①」）

「で①」は動作の場所を表す用法です。「にほんでかいました」のように、買った場所がどこかを説明してください。

やってみましょう！

・は（『したじき』での表記「は②」）

「ぞうははながながいです」「わたしはこれがほしいです」「わたしはこれがすきです」のように、「は」と「が」が同じ文の中で使われることがあります。本トピックでは「人は+ものが+ほしいです／すきです」という構造で、自分の好みを語りましょう。

・たぶん

「たぶん、にほんのくるまです」のように、不確定な内容を話すときに「たぶん」を使って話しましょう。『これだけ1』では「らしい、ようだ」のような推量を表す文末形式がありません。ですから「たぶん」をつけることで推量であることを伝えます。

おしゃべりしましょう！

・特になし

トピック 15 かいもの

述部

メイン 動詞の非過去形・過去形

「いきます」「かいます」などを使って、日頃の買い物場所や買うものについて話しましょう。その際、「いつも」「ときどき」のような頻度副詞をいっしょに使うと広がります。また、「いきました」「かいました」などで最近買い物に行ったときの話をしましょう。

サブ イ形容詞の非過去形

「たかいです」「おいしいです」のようにものの評価をしながら、自分が買ったものの理由などを話しましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・に（『したじき』での表記「に③（へ）」）

「に③（へ）」は行き先を表す用法です。「へ」と同じ意味なので括弧の中に入れてあります。「ひゃくえんショップに（へ）いきます」のようによく行く場所を話しましょう。

・で（『したじき』での表記「で①」）

「で①」は動作の場所を表す用法です。「ドラッグストアでたべものをかいます」のようによく行く買い物場所について話しましょう。

・と（『したじき』での表記「と①」）

「と①」は、動作に同伴する人を表す用法です。「かぞくといきます」のように、買い物に同伴する人について話をしましょう。

やってみましょう！

・どうしてですか？～ですから

『これだけ1』では「どうしてですか？」をかたまりの文法項目として使います。選択肢の中から自分が選んだものの理由をお互いに聞いてみましょう。

おしゃべりしましょう！

・に（『したじき』での表記「に①」）

「に①」は、時間を表す用法です。「きんようびにいきました」のように、買い物に行った日を話しましょう。「にちようび、げつようび」などにはつけてもいいですが、「きのう」などにはつけられません。話すときに注意してください。

・と（『したじき』での表記「と②」）

「と②」は複数の名詞を併記するときの用法です。「ふくとくつ」のように、複数の買い物をしたときは、これを使って、相手に伝えましょう。

・なにも～ないです

『これだけ1』では、この形でかたまりとして示します。何も買わなかったなら、「なにもかいませんでした」のように話しましょう。

コラム⑤ イ形容詞とナ形容詞という名称



学校で習った文法では、形容詞と形容動詞という名称があったことを覚えているかと思います。実は、日本語教育では、イ形容詞、ナ形容詞という名称が使われ、学校文法の形容詞＝イ形容詞、形容動詞＝ナ形容詞という関係にあります。

では、なぜこのような名称の違いが生じるのでしょうか。まず、イ形容詞とナ形容詞は活用形を除けば、文法上は同じ機能を持つという点があります。形容動詞という名称からすると、動詞に近いのかと誤解されますが、文法機能上は形容詞そのものです。

また、別の角度から考えると、「新鮮な」という形容動詞の語幹の「新鮮」は、名詞でもあるわけですから、動詞というより、むしろ名詞に近いという考え方もできます。この考え方を採用した寺村秀夫は「名容詞」という用語を使っていますし、海外の日本語研究では、形容動詞に nominal adjective（名詞的形容詞）という訳語が充てられることがよくあります。

もちろん、「新鮮な魚」は言えても「？新鮮の魚」は言えず、「東京の店」は言えても「？東京な店」は言えない（最近では、キャッチコピーなどであえて使う場合もありますが）ので、形容動詞と名詞は違うとも言えます。しかし、「日本語に特有な現象」と「日本語に特有の現象」だと迷う人も多いのではないのでしょうか？

さて、こうなると疑問に思うのは、なぜ形容詞と文法機能上は同じで、形態的には名詞に近い品詞に形容動詞という名前を付けたのかということです。明治期に日本初の近代的国語辞典とされる『言海』を編纂した大槻文彦が、『言海』の巻頭付録として「語法指南」という文法書を書きました。形容動詞は、この「語法指南」で「新なり」「静なり」について、「副詞に動詞「あり」が付いた品詞」という解釈をしたことに始まります。つまり、「にあり」が「なり」と変化し、「なり」が「な」と変化して、現在の形容動詞に至るわけです。

したがって、古典文法との接続が昔も今も重視される学校文法では、ナリ活用由来する「副詞に動詞が付いた品詞」を形容動詞と名付けることは、ごく自然な流れと言えます。しかし、現代語だけを考えればいい日本語教育においては、文法機能上は形容詞と同じで活用だけが異なる品詞を形容動詞と呼ぶ必然性はなく、形が覚えやすいナ形容詞という名称に変えることもまた自然な流れであると言えます。



トピック 16 びっくりしました！

述部

メイン イ形容詞／ナ形容詞の非過去形・過去形

本トピックはびっくりしたことについていろいろ話し合うトピックですが、「おおいです」「たかいです」「こわかったです」「きれいでした」などを使って、その理由について話し合みましょう。

サブ 動詞の過去形

「びっくりしました」「みました」などを使って、何に驚いたのかを伝え合みましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・～のとき

時間を表す文法項目です。「おはなみのとき」「ラッシュのとき」のように名詞と接続して、驚いた経験を話し合みましょう。

・どうしてですか？～ですから

『これだけ1』では「どうしてですか？」をかたまりの文法項目として示します。驚いた理由をお互いに聞いてみましょう。

・で（『したじき』での表記「で②」）

「で②」は手段・媒介を表す用法です。本トピックでは、「テレビ」「しんぶん」といった情報媒体を説明したいときに使しましょう。

・は（『したじき』での表記「は②」）

「にほんはでんしゃがやすいです」のように、「は」と「が」が同じ文の中で使われることがあります。本トピックでは、日本の交通手段を話すときにこの形を使いましょう。

・より

比較するときの文法項目です。「のほうが」とセットで使うこともありますが、本トピックは「より」だけです。「にほんよりやすいです」のように、物価について話し合みましょう。

やってみましょう！①

・に（『したじき』での表記「に②」）

「に②」というのは、存在場所を表す用法です。「ひゃくえんショップに」のように、いろいろなお店を入れて、そこに売っているものを聞き合みましょう。

・たぶん

不確定な内容を話すときに使います。お店に売っているかどうかはつきりは断定できないとき、「たぶん、あります。」と伝えましょう。

やってみましょう!②

・特になし

おしゃべりしましょう!

・に (『したじき』での表記「に①」)

「に①」は、時間を表す用法です。「きんようびにだします」のように、ゴミ出しの曜日を確認しましょう。「にちようび、げつようび」などにはつけてもいいですが、「きょう、あした」などにはつけられません。話すときに注意してください。



トピック 17 わたしのへや

述部

メイン 動詞 (あります/います/かいました)

部屋にあるもの、(ペットがいる場合は) 部屋にいるもの、買ったものについて話しましょう。

サブ イ形容詞/ナ形容詞/~たいです 非過去形

「ほしいです」「すきです」「かいたいです」などのように、部屋に欲しいものや好みについて話し合ひましょう。

助詞やその他の文法：このトピックで注意して使ってほしい文法項目です

トップページ

・に (『したじき』での表記「に②」)

わたしの部屋がトピックなので、「へやに」という文法項目をつかって、部屋に存在するものについていろいろ話し合ひましょう。

・と (『したじき』での表記「と②」)

「いすとテーブル」のように部屋にあるものをいろいろ列挙しましょう。「と②」は複数の名詞を併記するときの用法です。

・が (『したじき』での表記「が②」)

「わしつがすきです」のように好みを話し合ひましょう。この文法項目において「わしつ」に「を」ではなく「が」がつくことを不思議に思う外国人参加者がいるかもしれませんが。

・で (『したじき』での表記「で②」)

「で②」は手段・媒介を表す用法です。本トピックでは、「これはほんごでなんですか?」のようないかたを例示しています。他の「で②」の用法と違うように見えますが、基本的には、同じ媒介を表す文法項目です。

やってみましょう!

・に (『したじき』での表記「に②」)

上と同じ

・が (『したじき』での表記「が②」)

上と同じ

おしゃべりしましょう!

・より/のほうが

比較するときの文法項目です。必ずしもセットで使う必要はありません。本トピックの例では「エアコンよりせんぶうきのほうがすきです」のようにセットで出ています。

コラム⑥ イ形容詞とナ形容詞の違い



コラム⑤で「イ形容詞とナ形容詞は、文法機能上は同じ」と書きましたが、もちろん違う点もあります。ここでは、イ形容詞とナ形容詞の違いについて取りあげます。

イ形容詞とナ形容詞は、文法機能上は同じですが、活用など形態的な側面で違いがあります。名詞に係る場合（連体修飾の場合）、下記の表のように、その名称どおり「い」や「な」で終わります。しかし、述語として使われる場合、イ形容詞はそのままの形ですが、ナ形容詞は「だ」で終わります。「だ」で終わると、「弟は小学生だ」のような「名詞+だ」の形と同じになり、混同が生じやすくなります。

	連体修飾	述語として使われる場合	デスマス体
イ形容詞	美しい人 長い話	あの人は美しい 話が長い	あの人は美しいです 話が長いです
ナ形容詞	きれいな人 静かな海	あの人はきれいだ 海が静かだ	あの人はきれいです 海が静かです

次にイ形容詞とナ形容詞で違うのは、過去形の形です。イ形容詞の過去形は、「美しかった」「長かった」のように「った」という語尾に変化しますが、ナ形容詞の過去形は、「きれいだった」「静かだった」のように「だった」という語尾に変化します。コラム⑤でナ形容詞は「にあり」→「なり」→「な」と変化したという話をしましたが、過去形にしてみると、「静かだった」は「静かであった」のように「ある」という動詞の名残が隠れているのがわかります。実は、「美しかった」も古典のかり活用由来しており、「美しくあった」と、「ある」という動詞の名残が隠れています。また、「きれいな」の過去形は「きれいかった」かな、と思った人はいるでしょうか。「きれい」「ゆかい」のように、ナ形容詞の語幹が「い」で終わる場合に、混同が生じます。ただ、「きれいかった」はともかく「?ゆかかった」とは言えませんので、「きれい」は言語変化のただ中であり、「ゆかい」はまだのようです。

もう一つ挙げると、否定の形も違います。イ形容詞は「美しい」が「美しく」と活用していることに注目してください。ナ形容詞は名詞と同じ活用です。ま

た、デスマス体では、イ形容詞にもナ形容詞にも「ありません」という語尾があります。

	否定	否定のデスマス体	～ありません
イ形容詞	美しくない 長くない	美しくないです 長くないです	美しくありません 長くありません
ナ形容詞	きれいではない 静かではない	きれいではないです 静かではないです	きれいではありません 静かではありません

否定かつ過去の場合は、「なかったです」と「ありませんでした」という二つの形式が併存しています。「ありませんでした」が正しい日本語と言われることもあります。データを調べてみると、新聞では「ません」、日常会話では「ないです」が優勢であるのが現状です。また、日常会話などくだけた場面では、「では」が「じゃ」と変化します。

	否定かつ過去	否定のくだけた形
イ形容詞	美しくなかったです 美しくありませんでした 長くなかったです 長くありませんでした	なし
ナ形容詞	きれいじゃなかったです きれいではありませんでした 静かじゃなかったです 静かじゃありませんでした	きれいじゃありません 静かじゃありません

付録：分かち書きルール

『にほんごこれだけ!』に書かれている日本語に関するルールです。ローマ字表記については、ヘボン式を採用しています。

・助詞（格助詞、終助詞、接続助詞）の前後はあける（ひらがな）。ローマ字の場合、助詞はハイフンでつなぐ。

わたし は watashi-wa

いいです ね ii-desu-ne

たかいです から takai-desu-kara

・「ます／ました／ません／ませんでした」の前はあけない（ひらがな）。ローマ字の場合は「-masu / -mashita / -masen / -masen-deshita」とする。

いきます iki-masu

たべませんでした tabe-masen-deshita

・「形容詞＋です／でした」の「です／でした」は語幹に続ける（ひらがな）。ローマ字の場合は形容詞と「です／でした」をハイフンでつなぐ。

おもしろいです omoshiroi-desu

きらいです kirai-desu

たのしかったです tanoshi-katta-desu

おいしくなかったです oishiku-nakatta-desu.

・「名詞、副詞＋です／でした」の前後はひらがなの場合もローマ字の場合もあける。

しゅと です shuto desu

そう です soo desu

・「おくに」などの「お」はひらがなの場合はあけない。ローマ字の場合はoの後にハイフンをつける。

おしごと o-shigoto

*なお、したじきにかたまりとして出ている複合助詞などは、バラバラにしないで、まとめて表記します。

～のほうが ~nohooga

～のとき ~notoki